

TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

豊里



皆で心をつに。綱引き大会 6月21日

豊里町子ども会育成会連合会(遠藤たえ子会長)では、第30回子ども綱引き大会を豊里公民館大ホールで開催しました。

当日は、13地区から21チームが出場し、心をつに力を合わせ一生懸命に綱を引きました。

予選リーグを勝ち抜いた上位6チームが決勝トーナメントに進出。激戦の末、竹花地区の竹の子子ども会Aチームが優勝しました。

合同運動会で深まる地域の絆 6月13日

西野地区コミュニティ・米岡小学校合同運動会は同小の校庭で開催。地域と小学校の絆をより強くしたいと、今回初めて実施されました。

競技種目の中には、小学生と地区住民と一緒に参加する米岡音頭や紅白玉入れもあり、会場は大いに盛り上がりしました。参加した千葉三郎さん(新町)は「子どもからお年寄りまで、普段会えない人とも交流できる良い機会」と話していました。



米山

迫



交通死亡事故ゼロ2年間達成 6月15日

迫地区が6月13日で交通死亡事故ゼロ連続2年間を達成し、感謝状贈呈式は市役所迫庁舎で行われました。

佐沼警察署の笹原隆二署長から、地区を代表して市役所迫総合支所の高橋充支所長へ感謝状が贈られました。

感謝状を受け取った高橋支所長は「交通量の多い地区で交通事故ゼロ2年間を達成できたのは、地域皆さんの協力の賜物です。一日一日と積み重ね3年を目指します」と、記録の継続に向け決意を新たにしました。

石越



ふるさとスポーツ祭石越大会 6月28日

ふるさとスポーツ祭石越大会ニュースポーツの部は、石越総合運動公園などで開催されました。

当日は、悪天候のためターゲット・バードゴルフは中止となりましたが、グラウンド・ゴルフとユニカールの2種目に約150人が参加しました。

小雨の中行われたグラウンド・ゴルフ。参加者たちは、雨を吹き飛ばすような力強いプレーを見せ、ホールインワンが数多く出るなど、白熱した大会となりました。

登米公民館で芭蕉祭俳句大会 6月28日

第64回登米芭蕉祭俳句大会は登米公民館で開催され、市内外から多くの俳句愛好者が参加しました。

俳句大会では、事前に投句をする「兼題」と当日に句を詠む「席題」があります。兼題はお題の指定がなく、市内小・中・高生の部に4401句、一般の部に315句の投句がありました。席題のお題は「夏帽子」と「夏菜実」で、56句が詠まれました。

入選者には、それぞれ賞状と副賞が贈られました。

登米芭蕉祭俳句大会 登米



好成績を目指して、誓い合う 6月18日

登米市スポーツ少年団南方支部の結団式は南方総合運動場で行われ、団員ら160人が出席しました。

本年度のスポ少の登録状況は、12団体175人、指導者68人。昨年度は南方ソフトテニススポーツ少年団と南方バレーボールスポーツ少年団が県内外で好成績を残しました。

参加者たちは、昨年の成績を上回れるよう練習に励むことを誓い合いました。



南方

東和



ふるさと東和に思いをはせて 6月6日

東京みやぎ東和会(源仁壽会長)の総会は、東京都台東区にあるグリーンパークで開催され、会員のほか、市から市議会議員ら9人が出席しました。

総会後の懇親会では、ふるさとの発展を願いながら、懐かしい思い出や近況などを語り合いました。歌や踊りなどの催しも行われ、にぎやかな会となりました。また、シイタケなど東和の特産品が販売され、ふるさとの味を求めながら故郷に思いを馳せていました。

津山



「いかのおすし」で防犯対策 6月23日

つやま幼稚園では、津山地区防犯指導隊や登米警察署、柳津駐在所の協力のもと、防犯教室を園内の遊戯室で開催しました。

防犯教室では、防犯指導隊員と警察署員が「子どもが外で遊んでいる時に、知らない人から声を掛けられる」という内容の寸劇を実施しました。また、防犯標語「いかのおすし」のパネルを使って防犯について分かりやすく説明。園児たちは、身を守る方法を真剣に学んでいました。

登米産業高校生徒が交通安全 6月23日

登米総合産業高校(鈴木琢也校長)の農業クラブでは、同校前の国道346号線でサマーセーフティーキャンペーンを実施しました。

生徒たちは、自分で育てたニチニチソウの鉢とメッセージカードを「登米総合産業高校です。安全運転をお願いします」と、元気よく声を掛けながらドライバーに手渡しました。参加した生徒は「この活動が交通事故の減少につながればうれしいです」と話していました。



中田